

1 美郷町のICT教育「GIGAスクール構想」

美郷町の保・小・中各段階において 「社会を生き抜いていく力」を確実に育て、「自尊感情」を高め、「美郷町の次代」を拓く

学力の向上のためのICT教育
主体的・対話的で深い学びの実現
ふるさと教育・STEAM教育

美郷町のICT教育の推進「GIGAスクール構想の目的」

- 一人一人の教育的ニーズに対応し、誰一人取り残さない
- 1人1台端末を活用して、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、授業改善を図る
- 教師(大人)は、情報スキルを基礎力とする「学力観の転換」「授業観の転換」を図る
- 学校でも家庭でも継続して学習できるオンライン学習システムの工夫(自宅のWi-Fi環境整備)
- 「校務支援システム」導入による「働き方改革」を進める

自己有用感育成のためのICT教育
学習者主体で豊かなかわりある教育の実現
「課題」探究の時間・プロセス

※STEAM教育とは、Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、Mathematics (数学) Arts (リベラル・アーツ) を統合的に学習する教育手法

学力向上・授業力向上

学習課題の配布・回収
eラーニングを活用した家庭学習
臨休・いつでもオンライン授業
ALT・オンライン英会話教室
オンライン授業づくり研修
マス村とのオンライン交流
対面とオンラインのハイブリッド化

児童生徒支援

アンケート機能で相談活動
不登校でもeラーニング・オンライン授業

特別支援教育

教育的ニーズに対応したアプリ

交流・仲間づくり

他校との交流、生徒会交流
タブレット端末をキャリアパスポート化

働き方改革

小テストの自動採点
オンライン講義で研修

3 美郷町のICT運用ガイドライン

タブレット端末 iPad 第7世代 32GB キーボード付

小4~中3(GIGA更新購入/小110中115) 小1(R1~R4.10リース) 小2(H30~R3.9リース) 小3(R2~R5.3リース)

- 基本的にタブレット端末は、キャビネットで管理する。授業開始前に机の中に入れる時もある。夜間は施錠する。
- 移動教室の際は、落下に特に注意する。校庭、体育館で使用する際は、置き場所を工夫する。
- 過充電によるバッテリーの劣化を防止する。
- 充電ケーブルはキャビネットに接続してあるが、持ち帰りが日常化した時点で家庭保管とする。

- 「タブレット端末使用規定」「〇〇学校 タブレット活用のルール」を作成する。
- 家庭への持ち帰り、家庭学習で使用を進める。**
- 災害等の緊急時は、「オンライン授業」を行う。**
- 長期入院、不登校児童生徒の学習支援、コロナ感染による自宅待機等は、積極的にタブレット端末を活用し学習をする。**

- 「Google アカウント」は、教員、児童生徒一人一人に配布する。
- パスワードは、ランダムな数字とする。原則として、各自で管理する。
- 小学校低中学年は、忘れたときのために担任がアカウントやパスワードを保管してもよい。
- 「Google Classroom」「Google workspace」



3 美郷町のICT 運用ガイドライン

- 児童生徒の目と画面の距離を 30 cm 以上離す。
- 30 分使用したら目を休める。画面の明るさを調節する。

- web カメラ、マイク、スピーカーは、各校に 1 セット配備。
- Windows PC に接続して使用。
- web 会議システム (Zoom、Webex 等) による遠隔授業や他校との交流、教職員の遠隔研修で活用する。

- 「個人情報の取扱いについて」保護者の承諾を得る。
- クラウドについて説明し、利用許可を得る。
- **タブレット端末の持ち帰りについて保護者説明と協力 (Wi-Fi 環境) のお願いをする。**
「これからの学校教育や家庭教育は、Wi-Fi を使うことが当たり前の時代になる。」
- モバイルルーター貸し出しの要件として、通信料は「保護家庭は援助あり、その他は保護者負担」とする。



- 端末に不具合が生じたら、「まずは再起動」し、解消しない場合は、ICT 支援員に相談する。
- 落下、水没による故障、破損は、速やかに ICT 支援員か直接町教委に連絡する。
- 通常使用による故障は、「原則、町費」で修理する。故意による破損、紛失、盗難の場合は、「弁償」となることがある。
- 保険への加入を勧める。※タブレットに対応した保険であることを確認する

- 情報セキュリティ対策の推進を図る。情報未来技術戦略課と連携し、「教育情報セキュリティポリシー」を策定する。情報提供や研修の実施により、継続的にセキュリティ対策を推進する。
- 「統合型校務支援システム」導入に向けて準備する。浜田管内教育委員会担当者会の実施。島

4 美郷町の情報活用能力

		小学校・低	小学校・中	小学校・高	中学校
知識及び技能	情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起動、終了、写真撮影 ・ ファイルの保存と呼び出し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ローマ字入力で短文 ・ キーワード検索 ・ コンピューターと生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ローマ字入力で長い文章 ・ プログラミング 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 速く文章入力 ・ 情報のデジタル化、自動化の仕組み
	問題解決・探求における情報活用の方法の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験、図書、人から情報を収集 ・ 簡単な絵図表グラフ ・ 相手に伝わるプレゼン 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査資料 ・ 観点を決めた表やグラフで整理 ・ 相手を意識したプレゼン 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査、実験、観察 ・ 目的に応じた表やグラフで整理 ・ やり取りのある効果的なプレゼン 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワークから情報検索 ・ 統計的に情報整理 ・ web ページ SNS で適切に発信、交流
	情報モラル、情報セキュリティ等についての理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人の作ったものを大切に ・ 人に伝えてはいけない情報がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自他の情報の大切さ ・ 基本的な情報セキュリティ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報に関する自他の権利 ・ 通信ネットワーク上のルールやマナー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報セキュリティ対策や対応 ・ 情報社会における責任や義務
表現力 思考力、判断力、	問題解決・探求における情報を活用する力(プログラミング的思考)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験や活動から疑問をもつ ・ 手順を見通して手順の組み合わせを考え実行する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収集した情報から課題を見つける ・ 情報の活用の見通しを立てて実行する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題を焦点化し、ゴールを明確にし、シミュレーションしながら計画を立てて調整実行する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 条件を踏まえて情報活用の計画を立て最適化し、複数立案し、評価・改善しながら実行する
学びに向かう力、人間性	問題解決・探求における情報活用の態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係する情報を見つけようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報同士のつながりを見つけようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報活用を振り返り、効果や改善点を見出そうとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報活用を効率化の視点から評価し改善しようとする
	情報モラル、情報セキュリティ等についての態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人の作ったものを大切にすること ・ や人に伝えてはいけない情報を守ろうとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自他の情報の大切さを踏まえ、やり取りする際のルールやマナーを守って行動しようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報に関する自他の権利を踏まえ、通信ネットワーク上のルールやマナーを守って行動しようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報セキュリティ確保のための対策対応の必要性を踏まえ、通信ネットワークの公共性を意識して行動しようとする

5 「学習場面に応じた ICT 授業改革」 「主体的・対話的で深い学び」の実現

10の授業形態		小学校・低	小学校・中	小学校・高	中学校
A 一斉学習	教員による提示 A1	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題をタブレットで共有 ・児童生徒の書いたノートを写真に撮り、電子黒板やプロジェクターに繋いで共有する 無線 LAN 接続 画像や実演映像の拡大で焦点化 ・プロジェクターを使ってホワイトボードや黒板に映し出せば、そこに書き込める ・動画コンテンツの視聴 ・タブレットに書き込んだ意見を集約し、双方向の授業 			
	個に応じる B1	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度や誤答傾向に応じたドリルソフトの活用(国・算・数)で、各自のペースで(模範動画の再生・誤答問題を繰り返し、進捗状況管理ツール) ・笛やマット運動の練習等、自分のタイミングで繰り返し視聴できる(NHK for School) ・記録、再生で自己評価しながら練習 発音、朗読、書写、演奏 			
B 個別学習	調査活動 B2	<ul style="list-style-type: none"> ・アサガオの成長記録を毎日撮影 ・町探検で撮影(写真も動画) ・夏の生き物をクラスのみんなに紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・農家の人へのインタビュー記録を繰り返し再生して話し合う ・発表につかう 	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行などの事前学習 ・東日本大震災をインターネットで調べる ・スマートフォンをして動画視聴 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報をデジタル化して保存 ・実験、観察の結果をタブレットに記録する ・実験器具の操作方法の動画 ・他のグループと比較し原因究明
	思考を深める B3	<ul style="list-style-type: none"> ・学習アプリの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じたグラフ洗濯 ・教科書付属のデジタル教材 	<ul style="list-style-type: none"> ・月の満ち欠けモデルを連続撮影 ・立体図形のアプリ 	<ul style="list-style-type: none"> ・天体観測シュミレーション ・映像編集
	表現・制作 B4	<ul style="list-style-type: none"> ・町探検やいもほりの写真を使って自分の言葉で説明する 	<ul style="list-style-type: none"> ・町の様子についてレポーターを付けて動画撮影 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化の情報を収集し、新聞にまとめて発表 ・互いの画面を資料として相手のタブレットに送りアイデアをもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドベースのアプリで、同じプレゼンファイルを共有し、同時編集、コラボレーション

	<p>家庭学習 B5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「豪雨災害」や「感染症による臨時休業」等の緊急時でも「学びを止めない」「長期入院」「不登校」 日常的な支援 ・タブレットを持ち帰り、動画やドリルソフト等を用いて予習、復習 ・管理アカウントで進捗状況を把握し、家庭学習の進み具合を個別に把握 ・Google Classroomで課題を児童生徒に出す→課題を回収→コメントを出す Web 学級会、親子 PTA 会で意見交換もできる ・教師が授業動画を撮影し、家庭で視聴し学び直し
C 協働学習	<p>発表・話し合い C1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町探検の画像を拡大して気づいたことを発表 ・美郷町について撮影した画像や動画を基に、わかりやすく伝える方法を話し合う ・意見や感想を電子黒板に一覧示して比較し、クラスの交流 ・思考ツールを使って議論をしやすく ・プレゼンソフトを活用して発表したり助言しあったり ・電子黒板でプレ発表会
	<p>協働での意見整理 C2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の安全について写真を見ながら意見を出し合う ・同じ画面を何人かで見て、アイデアを記入したりコメントをつけたり ・水力発電のメリット、デメリットを持ち寄り、比較整理してグループの合意形成 ・複雑な数値計算やグラフ作成を短時間で言い表現、共有
	<p>協働制作 C3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アニメーション作品(図工) ・情報通信機能をもつプログラム制作(技家)
	<p>遠隔学習 C4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオメッセージ ・ALT実家とコミュニケーション ・博物館や科学館の専門家にインタビュー ・インターネットで情報発信、意見交換

参考資料「ICTを活用した指導方法(1人1台情報端末・電子黒板・無線LAN等)」(文科省)

「学びのイノベーション事業実証研究報告書」(文科省)

「とっとりICT活用ハンドブック」(鳥取県教委)

1 タブレット端末(ハードウェア)の取り扱い

- ① タブレット端末の管理は各学校の管理職ならびに情報担当が中心となっていく。
- ② 個人所有のタブレット・スマホ・PC端末を学校内に持ち込みネットワークに接続しない。
- ③ タブレット端末は基本的に学校敷地内で使用する。学校敷地外で利用する際には必ずその旨を管理職または情報担当に伝え、許可を得る。
- ④ インターネット利用する場合は、個人情報が入っていないものを使用する。
- ⑤ タブレット端末を業務以外の目的で使用したり、ネットワーク構成を変更したりしない。
- ⑥ 保管場所は、教職員用は職員室、児童生徒用は教室の施錠可能な保管庫を基本とし、学校の実情に合わせて決める。
- ⑦ 使用の際に破損が生じた際は、速やかに管理職ならびに情報担当まで報告し、管理職は教育委員会まで報告する。
- ⑧ タブレット端末を破棄する場合は、データの消去方法等について教育委員会に相談する。
- ⑨ ネットワーク機器(ハブ、ルータ等)を導入する場合には、教育委員会の許可を得る。



2 タブレット端末の設定について

- ① タブレット端末の設定は、教育委員会が行う。(初期設定は別紙参照)
- ② タブレット端末の設定は、基本的に各学校で同じ設定とする。
- ③ 設定の変更を希望する場合は、管理職ならびに情報担当が ICT 支援員を通じて、教育委員会へ設定変更の希望を申し出て許可を得る。

3 ソフトウェアの取り扱い

- ① タブレット端末への新たなソフトウェアのインストールは、ICT 支援員に相談の上、管理職の許可を得てインストールする。
- ② ソフトウェアのインストール作業は ICT 支援員が行う。
- ③ ソフトウェアはアップルコンピュータの提供する App Store からダウンロードするが、基本的には無料ソフトウェアのみダウンロードできるものとする。ただし、どうしても有料版を購入する希望がある時には、ICT 支援員を通じて教育委員会へ相談する。
- ④ 無料ソフトウェアを使用中に「有料版を購入しますか」という問いが表示される場合もあるが、購入はしない。

4 ネットワークの危険性

- ① インターネットを経由し通信される情報は漏洩が可能であり、常に危険性にさらされていることを認識する。
- ② ウィルス感染の可能性があることから、無許可で個人の機器を校内ネットワークやインターネットと接続しない。

5 インターネット利用の遵守事項

- ① 有害サイトなど、職務に関係ないホームページを閲覧しない。
- ② 情報発信する際は、学校からの発信であることを自覚して行う。

6 電子メール利用時の遵守事項

- ① タブレット端末での電子メールを使用しない。
- ② 不審なメールは直ちに削除する。
- ③ 個人で加入しているメールアドレスへの自動転送は行わない。

7 事故発生時の対応

- ① 不正アクセス、内部犯罪、故障や事故等が発生した場合は、ただちに管理職ならびに情報担当に報告する。管理職ならびに情報担当は、必要に応じてネットワークの切断等の指示を教育委員会より受け、対応したあと、教育委員会へ必ず報告する。
- ② 管理職ならびに情報担当は、直ちに調査の手がかりや現状のデータをバックアップし、調査、切り分け作業、確認対策等を行い、教育委員会に報告を行う。

8 修正プログラムの適用

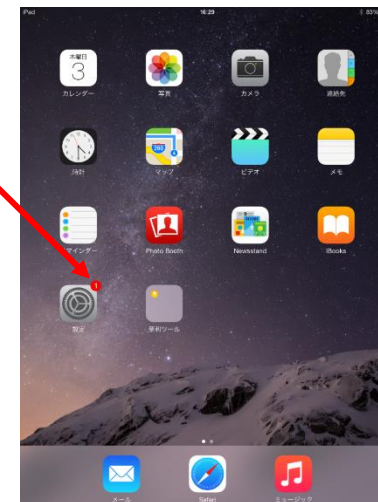
- ① アップデートは OS ならびにそれぞれのソフトウェアで情報提供がある(iOS の設定や App Store のアイコンに赤く数字が表示される)が、アップデートは ICT 支援員が行う。

9 情報漏えい対策

- ① 個人情報等に該当する重要な情報は、学校の事務用パソコンを利用し、タブレット端末では基本的に扱わない。
- ② 情報の内容によって、個人情報とするべきかどうか不明な際は、ICT 支援員を通じて教育委員会まで問い合わせる。

10 その他

- ① ドロップボックスの中に資料等を入れる際は、個人の情報が特定できる情報が入っていないか確認する。
- ② アップルTVに資料等を写す場合は、個人のタブレット等はさげ、学校のタブレットを使う。
- ③ バッテリー保護の対応について
 - ・ホームボタンを 2 回押して「マルチタスクバー」を表示させてアプリを終了しましょう。
 - ・充電が50%以上ある場合は、充電しないようにしましょう。 *バッテリー膨張、電源切れの故障につながります。



7 タブレット使用のルール(児童生徒)

R4 版

- 上手に使って授業での学びを深めよう。
- ルールを守ってみんなが気持ちよく学習できるようにしよう。

- 目的 学習活動のために使うことが目的。学習活動にかかわることだけに使うようにする。
- 使用場所 学校と自宅のみで使用する。
 それ以外の場所で使用する必要がある場合は、先生に許可を得てから使用する。(校外学習時、学習支援館での使用など)
- 使い方 登下校中は、タブレットをランドセルやかばんの中に入れておく。
 なくしたり、ぬすまれたり、落としてこわしたり、水にぬらしたりしないように十分に気を付ける。
 持ったまま走ったり、地面に置いたりしない。
 かばんの下に置いたり、かばんの底に入れたりしない。
 手をきれいにしてから使う。
 タブレットの画面は指で触れる。または、タッチペン、キーボードを使う。(とがったもので触れたり、落書き、磁石を近づけたり絶対にしない。)
 学習に関係のないウェブサイトにアクセスしない。インターネットは接続履歴が残るので注意する。
 学習に必要な写真・スクリーンショット、動画を残さない。(必要がないと判断した場合は、先生もしくは ICT 支援員が削除する)
 学校のタブレットで作ったデータやインターネットから取り込んだデータ(写真や動画など)は、学習活動で先生が許可したものだけ保存する。
- ◇学校で 学校でタブレットを使うときは、先生の指示を守る。
 休み時間や放課後に使うときも、目的や時間について先生の許可を得る。
- ◇家庭で 寝る30分前は使用しない。
 自宅のパソコンとタブレットは絶対に接続しない。
 タブレット使用時は飲食をしない。
 家庭におけるタブレットの使用は貸与された児童生徒に限る。(兄弟姉妹の間で貸し借りをしない)
 持ち帰った次の日には必ず学校に持ってくる。(長期の休みの場合は出校日に持ってくる)
 家庭で保管するときは、家の人の目の届くところに置いておく。
 本体、充電器、ケーブルの3点を貸し出す。貸し出した充電器以外の使用は禁止する。



充電は家庭(学校)で十分にしておく。

■情報モラル

自分のタブレットを他人に貸したり使わせたりしない。

インターネット上の情報が正しいものかどうか判断できる力を身に付ける。

自分や他人の個人情報(名前や住所、電話番号、画像など)はインターネット上に絶対にあげない。

他の人が不快な思いをしたり、不安になったりする使い方をしない。

カメラで誰かを撮影したり、人の家や持ち物などを撮影したりするときは勝手に撮らず、必ず撮影する相手の許可をもらう。

無料 Wi-Fi スポットでのタブレット使用は禁止する。(悪意のある無料 Wi-Fi スポットもある → 通信内容が盗み取られることがある)

インターネット上の情報を引用する場合は必ず出典を明らかにし、著作者の意図を変えない。

■健康のために

タブレットやパソコンを使用するときは、正しい姿勢で、画面に近づきすぎないようにする。

長時間続けて使わない。30分ごとに休憩を取り、遠くの景色を見るなどして目を休ませる。

■設定の変更/不具合や故障

先生や修理する人が使いにくくなるので、デスクトップのアイコンの並び方や位置、背景の画像、色など、設定を勝手に変えない。(どうしても変える必要がある場合は先生に相談する。)

特別な指示があったとき以外は設定のアイコンを触らない。

今入っているもの以外のアプリケーションを入れない。また今入っているアプリケーションを勝手に削除しない。削除してしまった場合は、すぐに先生に伝える。

学校でタブレット本体やインターネットが使えなくなったときは、すぐに先生に知らせる。

家庭で壊れたりなくしたりしたときは、学校に連絡する。

iOS のアップデートは支援員が行う。万が一触ってしまった場合は先生に知らせる。(パスコード、Touch ID は設定しない)

2ファクタ認証はしない。

故意に破損・設定変更をするなどしてタブレットに不具合が生じた際は、元に戻すための作業にかかる費用を家庭で負担してもらう場合がある。

■使用の制限

目的外に使用した場合や、「タブレット使用のルール」が守れないときはタブレットの使用を禁止する。

8 情報モラル

1. 学習指導要領解説

情報モラルとは「情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度」

- 他者への影響を考え、人権、知的財産権など自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任をもつこと。
- 犯罪被害を含む危険の回避など情報を正しく安全に利用できること。
- コンピューターなどの情報機器の使用による健康との関わりを理解すること。



2. 学習内容

- ・情報発信による他人や社会の影響について
- ・ネットワーク上のルールやマナーを守ることの意味について
- ・情報には自他の権利があること
- ・情報には誤ったものや危険なものがあること
- ・情報セキュリティの重要性とその具体的対策について
- ・健康を害するような行動について

- 早期からインターネットを利用する傾向
- SNS や動画視聴の利用が多くなっている。「ネット依存症」
- SNS で知らない人とのメールやメッセージのやり取り
- 「トラブルを起こしてしまうかもしれない」という自覚がない

内閣府「青少年のインターネット利用環境実態調査」

◎大人がみんな模範を示しているとは言えない世の中を生きていく

3. 教師が持つべきスキル(知識)

- ① インターネット上で起きていることに関する知識
- ② 法令の知識
- ③ 問題への対処方法

4. 保護者への啓発

※保護者が契約した通信サービスを、児童生徒がどのように利用するかを十分に検討しなかったことに起因する。

- ①保護者の理解が重要(危機感・切実感をもってもらう)
- ②家庭のルールを一緒に考え、約束する
- ③学校で行っている情報モラル指導の内容を伝える



「教育の情報化に関する手引き」(追補版) 令和2年6月 文部科学省

9 スキルチェック

一 斉 学 習	教員による 教材提示	<input type="checkbox"/> プロジェクター、電子黒板と PC を接続して映し出す。 <input type="checkbox"/> プロジェクター、電子黒板と iPad を接続して映し出す <input type="checkbox"/> 映し出した画像の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> プロジェクター、電子黒板に書き込み(マーカー、チョーク、ペンツール)	プロジェクター 電子黒板
個 別 学 習	個に応じる学習	<input type="checkbox"/> ドリル教材にログインさせて学習させる <input type="checkbox"/> 操作に困っている子に声をかける。 <input type="checkbox"/> NHK for School 等の動画コンテンツのサイトを授業で使う <input type="checkbox"/> 動画を作成して、授業で使う	e-ラーニング教材
	調査活動	<input type="checkbox"/> iPad のカメラ機能を使う <input type="checkbox"/> 撮影したデータの保存・再生 <input type="checkbox"/> インターネット検索のポイントを児童生徒に説明する <input type="checkbox"/> 学習に使えるサイトを知っている (NHK for School 等) <input type="checkbox"/> 授業中に使えるサイトを児童生徒と共有(リンクの紹介等)	カメラ機能 Zoom
	思考を深める	<input type="checkbox"/> 教科書、指導書に付属しているデジタル教材(DVD)を知っている <input type="checkbox"/> 指導者用デジタル教科書を使ったことがあり、いくつかの機能がわかる <input type="checkbox"/> 学習アプリ(e-ラーニング教材)を使う <input type="checkbox"/> 児童生徒がプレゼン資料を創れるように課題を設定する <input type="checkbox"/> 映像編集アプリを習得し、自作教材を作る	デジタル教科書 Web コンテンツ

	表現・制作	<input type="checkbox"/> Google スライドで文書やプレゼン資料を作成 <input type="checkbox"/> 文章やプレゼン資料等協働編修する場面をつくる <input type="checkbox"/> 画面共有や画像転送機能を使う	ドキュメント Photo スライド
	家庭学習	<input type="checkbox"/> e-ラーニング教材を使ったことがある <input type="checkbox"/> e-ラーニング教材を授業で使う <input type="checkbox"/> Google Classroom で課題を出す <input type="checkbox"/> Google Classroom で課題を回収する	e-ラーニング Google Classroom
協働学習	発表・話し合い	<input type="checkbox"/> プロジェクターや電子黒板にタブレット端末を接続して発表させる <input type="checkbox"/> グループ発表に対して改善点を伝えるように指導する <input type="checkbox"/> 議論したり、修正したりする時間的ゆとりを確保する	電子黒板 プロジェクター
	協働での意見整理	<input type="checkbox"/> 普段からグループでの話し合いができるよう指導する <input type="checkbox"/> 意見を比較し、共通点や相違点を基に話し合いをさせる <input type="checkbox"/> 話し合いのルールを確認させる <input type="checkbox"/> 疑問に思うことを伝えさせる	Google スライド Google Classroom
	協働制作	<input type="checkbox"/> 分担して活動できるアプリの機能を知っている <input type="checkbox"/> 分担作業に差が大きくなるよう個別指導できる <input type="checkbox"/> 試行錯誤の時間を確保する	Google スライド
	遠隔学習	<input type="checkbox"/> web 会議システムを使ったことがある <input type="checkbox"/> 会議を開始できる <input type="checkbox"/> 児童生徒を招待できる <input type="checkbox"/> 資料の共有表示ができる <input type="checkbox"/> チャット機能が使える	GoogleMeet Zoom

参考 「とっとりICT活用ハンドブック」(鳥取県教委)

10 iPad のアプリ

○純正教育ツール iPad に搭載されている iPadOS には、調べ学習に利用できる「Safari」や写真撮影を行える「カメラ」、ビデオ編集に役立つ「Clips」や「iMovie」、レポート作成に威力を発揮する「Pages」など、様々な学習に利用できる Apple 純正アプリが組み込まれています。

さらに、Apple がアプリ審査を行い、安全なアプリだけを公開しているアプリストア「App Store」には、無料のプログラミングアプリである「Swift Playgrounds」などの Apple 純正アプリの他、20 万を超える多種多様な教育アプリが揃っています。

○Apple 純正アプリ

				
Clips は、愉快で面白いビデオを作成して友達や家族と共有できる無料の App	iMovie なら、ハリウッド映画のような予告編や美しいムービーを作成できる	Swift Playgrounds は、楽しく遊びながらプログラミングを学べる画期的な App	Keynote は、パワフルなプレゼンテーション用 App	Apple のマップを利用して、道順を調べたり、世界を探索したり
				
横向きにすると、関数電卓として高度な計算を行うことができる	Numbers は、家計簿、チェックリスト、請求書、住宅ローンの計算表など、さまざまなものを作成できる	GarageBand があれば、プロ並みの設備を持つレコーディングスタジオに変身。	Pages は、モバイルデバイスのためにつくられた最も美しい文書作成 App です。	Apple Books iPad 上で最高のブックやオーディオブックが楽しめる
AirDrop 近くにあるほかの Apple 製デバイスと写真や書類などのコンテンツを共有し、相手からも受け取ることができる	iPhone でスクリーンショットを撮る方法 音量を上げるボタンとサイドボタンを同時に押す	Split View で、2 つのアプリを画面上に同時に表示・操作できる。写真アプリから画像をドラッグ & ドロップでメールに添付することなども可能	スクリーンタイム は、アプリの使用時間や Web サイトの閲覧時間を確認したり、使用時間やコンテンツの限が可能。スマホの使い過ぎを防止に役立つ	おやすみモード をオンにすることで、電話の着信やメールの受信の通知をしないようにする

11 学校ではこんなアプリ使っています

ICTの世界は、「日進月歩」です。

 <p>漢字忍者</p>	 <p>新・筆順辞典</p>	 <p>ことわざ</p>	 <p>お金の学習</p>	 <p>たし算ひき算</p>	 <p>電卓 Pro</p>
<p>指で画面に漢字を書くと漢字が自動認識される。答えボタンを押した際には漢字の書き順も表示。なぞり書きで漢字の書き取り練習が出来る。</p>	<p>漢字の筆順や読み方をすぐに調べられる。画数や読みからも検索が可能。</p>	<p>テーマ別にことわざクイズを解いて知識を身につける。反復練習にもなる。</p>	<p>お金の学習アプリ。表示された金額になるように硬貨を移動させ、正解か、多いか、少ないか確認できる。</p>	<p>主人公の忍者と足し算引き算の修業を見ながらテンポよく反復練習できるアプリ。</p>	<p>電卓アプリ。</p>
 <p>九九</p>	 <p>Geoboard</p>	 <p>単語帳メーカー</p>	 <p>ピアノ</p>	 <p>Chatwork</p>	 <p>タイマー</p>
<p>九九の練習や復習に使える。「$2 \times 3 = ?$」のような普通の形から、「$2 \times ? = 6$」や「$? \times ? = 6$」で出題されるモードもある。特別支援学級、大和小2年</p>	<p>視覚イメージ力を高めたり補助したりする方法として使用。ピンに複数の輪ゴムをひっかけて図形を完成させる。かたちをつくる(小1)などの単元でも使える</p>	<p>自分で作成できる単語帳アプリ。フラッシュカード型なので授業にも最適。</p>		<p>チャット 邑智中(1~3年・主に社会科の授業で活用)</p>	<p>ねずみタイマー。ねずみが1個のリンゴを10秒で食べる。時間を「見える」ようにしてイメージできる。 大和小学校(特別支援)</p>

 <p>VoiceTra</p>	 <p>お金の学習</p>	 <p>100マス計算</p>	 <p>漢字書き順判定</p>	 <p>九九のアプリ</p>	 <p>文字数メモ</p>
<p>話しかけると外国語に翻訳してくれる音声翻訳アプリ。 邑智小6年生</p>	<p>降ってきたお金がいくらあるかを並べ替えて、確認して、答えを入力する。正解か、多いか、少ないか解答が出てくる。</p>	<p>100 マス計算アプリ。たし算・引き算・九九の練習ができる。</p>	<p>漢字の書き順を再確認するアプリ。辛口採点。</p>	<p>九九のアプリ。 上りの九九、下りの九九、ランダムで出題が選べる。 正解するとポイントが貯まっていくシステム。 大和小2年</p>	<p>文字数を数えるためのメモ帳。作文、新聞製作などに。</p>
 <p>ABC Goobee</p>	 <p>えいすうなぞり</p>	 <p>viscuit</p>	 <p>日本一周</p>	 <p>Webex Meet</p>	 <p>Zoom</p>
<p>アルファベットをテーマとした英語知育アプリ。ネイティブの発音でキャラクターと一緒に楽しく ABC を学習できる。 小学3・4年</p>	<p>アルファベット、数字をなぞって書き順を覚えるアプリ 小学3・4年</p>	<p>子供向けのプログラミングアプリ。自分で書いた絵を動かすことができる 大和小学校、邑智小学校（特別支援学級）</p>	<p>出題される全国の地名、県名、山、湖、半島などの名前を手書きで答える「書き取り」ゲーム。</p>	<p>ビデオミーティングアプリ。 教員全員、小学4年生以上アカウント取得。</p>	<p>ビデオミーティングアプリ。</p>

 <p>デージーボード</p>	 <p>日本パズル</p>	 <p>日本クイズ</p>			
<p>画面にテキストが現れるのと同時に録音された音声再生され、再生箇所がハイライト表示される。</p> <p>小学校。本の読みに困難のある児童生徒向けに作られた録音図書による教科書。</p>	<p>ジグソーパズル感覚で都道府県の位置や名前を覚えることが出来る教育系パズルゲーム。ベストタイムを縮めるために競っているうちにどんどん上達する。</p>	<p>都道府県や県庁所在地を覚えるのに良いアプリ。ベストタイムを縮めるために競っているうちにどんどん上達する。</p>			

12 ICT 教育推進会議

- 教育関連法規
- G I G A スクール構想
- しまね教育魅力化ビジョン
- 美郷町教育振興基本計画
- 学習指導要領
- 中教審答申「令和の日本型学校教育」
- しまね学力育成推進プラン
- 美郷町 ICT 教育推進ビジョン

- ・学校教育に ICT は必要不可欠（基盤的ツール）
- ◇Society5.0 時代の到来
- ・主体的・対話的で深い学びの実現（授業改善）
- ・端末の活用は「当たり前」、「文房具」
- ◇予測困難な時代、社会的変化
- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- ・対面指導と遠隔・オンラインのハイブリット
- ◇持続可能な社会の創り手の育成
- ・校務の効率化、働き方改革の推進

学習指導要領の着実な実施

「美郷町を担う心豊かな人づくり」のために ICT 環境を最大限にいかした教育の実現

ICT の日常化

教育委員会	学校	ICT 支援員
<ul style="list-style-type: none"> ○ICT 環境整備、通信機器整備 ○ICT 教育推進ビジョンの策定 ○ICT 教育にかかわる研修の開催 タブレット端末管理規定 ○持ち帰りのルール作成・提示 ○一人一台端末の持ち帰りへの対応 <ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi 環境の把握 ・モバイルルーター、SIM カードの準備 ○情報収集・情報提供（国、県、先進地域） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT 機器を効果的に活用した授業づくり <ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」への授業改善 ・デジタル教科書、学習支援ソフトの活用（スクールタクト、ラインズ e ライブラリ、その他学習アプリ等） ○Google Workspace for Education の利活用 ○ICT 教育（端末の利活用等）に関する共通理解 ○OJT による指導力向上と業務改善 ○一人一台端末の持ち帰りによる利活用 <ul style="list-style-type: none"> ・課題の送付、提出 ・分散登校、オンライン授業 ○情報活用能力の育成 ○情報モラル教育の充実 ○保護者への理解・啓発（端末の利活用等） <ul style="list-style-type: none"> ・保護者タブレット研修会 ○目の健康などへの配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT 機器の設定やメンテナンス <ul style="list-style-type: none"> ・Google Workspace for Education のアカウントの設定、管理 ○教職員への授業支援や提案 ○児童生徒への操作支援 ○効果的なアプリやサイトの紹介 ○機器のトラブルへの相談対応 ○持ち帰りへの対応 <ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi 設定の方法について ・モバイルルーター、SIM カードの設定
<ul style="list-style-type: none"> ・未来技術戦略課 		<ul style="list-style-type: none"> <li style="text-align: center;">家庭・地域等 ○家庭での端末利活用についての理解・協力 ○家庭での適切な活用（使用時間、健康面への配慮、保管等） ○Wi-Fi 環境設置

- ◆デジタルとアナログのベストミックス
 - ◆**ビジョンの共有**
 - ◆活用・整備
 - ◆連携・協働
 - ◆P D C A サイクル
- ◆ICT を安易に使用制限するのではなく、むしろ積極的に利活用する中で課題解決を図る。（**できることから！できそうなところから！**）

美郷町 ICT 教育推進ビジョン

令和4年度

美郷町教育委員会

美郷町 ICT 教育推進会議

〒699-4692 島根県邑智郡美郷町粕洲168番地

TEL 0855-75-1217 FAX 0855-75-1386